

2 ごみをへらすための3つのステップ

ごみをへらすためにはどうしたらよいか考えてみましょう。

3R スリーアール

①～③の頭文字を取って3Rなんだよ！



① リデュース Reduce

ごみを発生させない！

ごみになる物を買わない、もらわない、最後まで大事に使うなど、ごみの発生をもとからへらすこと。

取り組みのひとつとして

リフーズ

いらないものはもらわない！

すぐごみになってしまう物はもらわずに断ること。

② リユース Reuse

くり返し使う！

買った物を使えなくなるまで使ったり、使ってくれる人にゆずったりすること。

リサイクルにはお金もエネルギーもかかってしまうから、まずはリデュースとリユースで、なるべくごみを出さないようにすることが大切なんだよ！



マイバッグ
キャンペーンキャラクター
モッテコちゃん

③ リサイクル Recycle

材料として再び利用しよう！

ごみとして捨てずに、分けて集めて、新しい製品に生まれかわらせること。

取り組む順番にもちゃんと意味があるんだね！



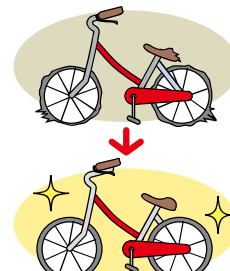
① リデュース (ごみを発生させない！)

ごはんは
残さず食べよう！！



残さず食べて、生ごみを出さないようにしよう。

こわれても修理して
大切に使う！！



新しいものを買う前に修理できないか考えよう。

必要な物だけを
買おう！！



家にまだあるのに買った、よけいに買いすぎたりしないようにしよう。

マイボトル、マイバッグを
持って行こう！！



お出かけや買い物に行くときは、マイボトル(水とう)やマイバッグを持ち歩こう。

「レジ袋はいりません」の
一言を！！



レジ袋や使い捨てスプーンはもらわないようにしよう。

この行動はプラスチックごみをへらすことにもつながる大切な取り組みです。

どうしてもレジ袋が必要な時は、
福岡市内でごみ出しに
使えるレジ袋“ふくレジ”



令和6年11月
に販売を開始
しました。

レジ袋と同じようにコンビニなどのレジで買えるよ。使ったあとはごみ袋としてごみ出しに使えるから、袋1枚分のプラスチックごみをへらすことができるんだ。

解説

★ごみを減らす3つのRの意味を正しく理解し、その順番の大切さについて考えさせてください。
●循環型社会形成推進基本法では、循環型社会の形成にあたって、発生抑制、再使用、再生利用・熱回収、遠近処分順で優先順位が定められています。

解説

★私たちの生活のあらゆる場面でごみを減量する工夫ができることを気付かせてください。
●ごみ減量をさらに進めるために、リデュース・リユースに重点を置いた啓発・広報を行っています。
●リデュースの中でも一度使うだけでごみとなるようなものを断るリフーズの取り組みが、プラスチックごみの抑制やごみ減量につながっています。プラスチックごみについては、30ページにも書いてあります。